

- ファミリーハウス
- 健康相談会 巡回診療
- こども救急箱
- ふれあいコンサート
- その他



すべてのこどもに適切な小児医療と  
快適な闘病生活を

Save the Children  
私達は離島・へき地の  
難病児を支援します



既に終了した相談会  
平成22年1月30日(土)・・・与論島  
平成22年2月28日(日)・・・沖永良部  
その他の相談会につきましては、  
日程を調整中です。

本誌掲載のファミ  
リーハウス「声」に  
は、ホームページに  
掲載されています。

利用した方は、次  
の人が気持ちよく使  
えるよう、部屋の掃  
除も心がけてほしい  
と思います。  
布団のシートが私  
達で終わりました。  
もし宜しければ、  
風呂のマットがもう  
一枚あれば洗濯した  
いなーと思いまし  
た。

1泊2日の利用で  
した。息子もだいぶ  
大きくなり、満足感  
でいっぱいになりな  
がら、ファミリーハ  
ウスに帰ってくる事  
でした。息子に安心  
して会えるのも、こ  
のファミリーハウス  
があるお陰だと思っ  
ています。  
今回も有り難うござ  
いました。

ファミリーハウス「声」  
(ハウス常設の寄せ書きノートから)紹介します)

平成22年8月下旬(予定)・・・  
ふれあいコンサート  
2月のコンサートは新型インフルエ  
ンザの影響も考えられ、中止となりま  
した。

ファミリーハウスも  
オープンから二年半  
を経過し、利用なさ  
る皆様もファミリー  
ハウスを「皆の我が  
家」として大切に利  
用していただしてい  
る様子が見えます。



今回ファミリー  
ハウスにお世話にな  
りました。有り難う  
ございました。  
NICUに入院して  
いる息子が、まん丸  
大きくなっており、  
嬉しく思いました！  
ここに宿泊される  
方々は、それぞれ事  
情あつての事だと思  
います。ホント、  
ファミリーハウスが  
あるからこそ、安心  
して見舞いに行ける  
んだと思います。普  
通にホテルに泊まっ  
たりすると、やっぱり  
金銭的にも負担が  
かかってしまい、特  
に離島や県外から来  
られる方は大変です  
。

本誌に掲載のファミ  
リーハウスには感謝  
しています。中間さ  
んをはじめ、ボラン  
ティアの皆様、有り  
難うございました。

平成22年2月28日(日)  
午前11時から、鹿児島  
大学桜ヶ丘キャンパス  
共通教育棟301号室にて  
こども医療ネットワーク  
の第五回定時総会が  
開催されました。当日  
の出席者は十二名、委  
任状提出により、総会  
は適法に成立致しまし  
た。  
議事は平成21年度の事  
業報告および22年度の  
事業計画その他が発表  
され、審議事項はすべ  
て可決承認されまし  
た。

南日本文化賞

「受賞」報告

平成20年11月、  
南日本文化賞(NPO  
法人こども医療ネット  
ワークの活動に対し)  
「こども救急箱」  
毎月隔週で南日本新聞  
に掲載されている  
「あんしん救急箱」  
50回を記念して冊子  
を作成しました。  
平成21年10月、  
自費出版南日本企画賞  
を受賞致しました。



冊子ご希望の方  
に実費をお振り込  
み頂き、おわけし  
ておりますので、  
詳しくは、ホーム  
ページをご覧下さ  
い。  
今年十月には百  
回目を予定してい  
ます。

自費出版南日本企画賞

「こども健康相談会」  
にかける先生の思い&昨年ご報告

健康相談会は新型インフ  
ルエンザの影響を受け、  
予定した相談会も現地の  
集会中止という特殊な事  
情でキャンセルせざるを  
得ない状況となりました。  
た。その為、昨年一年で  
実施できた相談会は一回  
となりまして。  
NPOこども医療ネット  
ワークの認知度も上  
がってきており、離島  
支援のサポートとして  
機能している事を実感  
します。  
今後離島支援の充実  
化をはかりたいと考え  
ております。

こども医療ネットワーク  
「第五回定時総会」開催  
平成22年2月28日(日)鹿児島市



今回は毎年寄付  
を頂戴している  
(有)山口自動  
車部品商會代表  
取締役の山口耕  
作氏を総会にご  
招待させて頂き  
ました。

「こねっと通信」は、会員の方々と本部・事務局を結ぶコーナーです。ご意見・ご要望などドンドンお寄せ下さい。  
ホームページ・「こねっと通信」に掲載可能なお子様のお写真がございましたら是非、ご提供いただきますよう、お願い致します。  
《宛先》 〒890-8520鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内 「こねっと通信」係  
E-mail info@kodomo-iryu.org (事務局)

こども救急箱

《 反抗期 》

NPO法人こども医療ネットワーク会員  
楠生亮  
(鹿児島市立病院小児科)

2009年8月17日南日本新聞掲載

おしゃべりを始める1歳  
半くらいの子どもに「好  
き？」と聞くと好きと言  
い、直後に「嫌？」と聞  
くと嫌と言います。もつ  
とおしゃべりが上手にな  
る2、3歳くらいになると  
「好き？」というのと、  
「ここにしよう」というと、  
「いや」と言ったりしま  
す。「え、好きじゃない  
の？」と聞くと面白がつ  
て好きじゃないと繰り返  
します。

これは自我が目覚め、自  
分以外の人に興味をもつ  
ようになり、言葉遊びを  
しながらやりとりを経験  
しているのです。この時  
期は要求を通そうとして  
泣き、目的を達するまで  
決して泣きやみません。  
「もういい加減にしな  
さい」とつい言うてしま  
いますが、これも自分を認  
めてほしいという自我の  
目覚めからくるもので  
しょう。



南日本文化賞受賞式写真  
平成20年11月1日

反抗の程度には個人差  
があります。何度か言い  
聞かせれば分かってくれ  
る子どももいれば、頑と  
して受け入れられない子  
どももいます。いずれに  
しろ、反抗期は子どもに  
とって大切な成長過程で  
す。  
また、大人からみれば  
単なるわがままにしかみ  
えませんが、自主性の現  
れでもあります。一概に  
「反抗」悪いこと」と決  
めつけず、時間に余裕が  
あるときは待つ姿勢も必  
要です。  
最近、新聞などで2、  
3歳児の子どもの虐待の  
報道をよく目にします。  
虐待に至るにはさまざま  
な理由があつて他人には  
評価しにくいのですが、  
親が精神的にゆとりを  
もつて子どもに接するこ  
とが基本です。そのため  
には祖父母をはじめ、周  
囲の支援が欠かせません  
子どもを社会の財産と  
思つてかわいがり、指導  
できるような社会であつ  
てほしいと思います。

## ご寄付のお願い

2009年7月1日から12月31日までに、ご寄付頂いた皆様方のお名前です。ありがとうございました。

- 久留須浩一様
- 谷口敏弘様
- イオン鹿児島ショッピングセンター様
- 杉浦朱実様
- 谷口美枝様
- イオン鹿児島ショッピングズンダレ5 オリジナルチャリティー様
- 杉浦二郎様
- 斉之平千奈津様
- 興南工業株式会社様(募金箱)
- 細山由美様
- 田中勝子様
- 宝納酒店様(募金箱)
- 二宮和美様
- 大迫輝子様
- 鹿児島ロータリークラブ様
- 三宅淳達様
- 井上みゆき様
- きりしま会様
- 三宅弘子様
- 尾堂伸子様
- いぢちこどもクリニック様
- 福原正弘様
- 安村純子様
- 石庵様(募金箱)
- 武山貴子様
- 鎌田直美様
- 石庵様(募金箱)
- 福川勉功様
- 荒田道子様
- 南天会様(募金箱)
- 福川みずほ様
- 井之上寿美様
- 福元大策様
- 上園ムツ子様
- 柳元孝介様
- 福原千尋様
- 上園茂久様
- 森岡洋史様
- 蘭牟田直子様
- 上園みち子様
- 大福良子様
- 榮村まみ様
- 上園茂三郎様
- 石川直浩様

- 下原怜子様
- 小田真由美様



**■ 一般寄付** 本法人の活動意義をご理解頂き、ご寄付を賜りますようお願い致します。現金收受の方法は、事務局へお問い合わせ下さい。

**■ 個人賛助会員 年会費** …… 12,000円

**■ 法人賛助会員 年会費** …… 120,000円

**■ 募金箱** 募金箱をお置きいただける店舗 企業 他を募集しております。

ご賛同いただける方は、事務局までご連絡下さい。

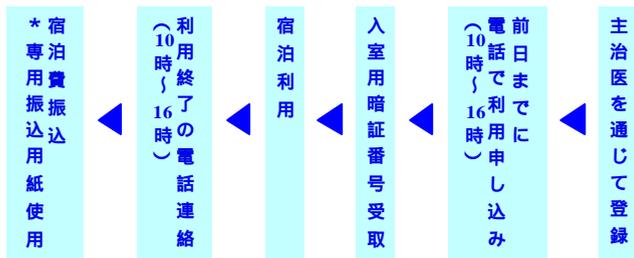
本法人の活動意義をご理解頂き、活動を支援いただける個人又は企業の入会をお願いしております。

入会申込書を事務局へお送り下さい。

### 鹿児島ファミリーハウス<sup>®</sup>のご利用方法

- 鹿児島市内の病院に通院、入院する患児とご家族のための宿泊施設です。
- 基本的な電化製品・台所用品・寝具 他のご用意があります。
- 1,000円 / 1泊 (宿泊人数は何人でもOK)でご利用できます。
- セルフサービスが基本(清掃、ゴミの始末、その他)です。
- ボランティアの人達によって維持管理して頂いております。ご協力を。

### ご利用の流れ



\* (注) 要 / 事前登録 / ご希望の方は主治医にご相談下さい。

篤志家のご協力の下に鹿児島市鴨池2丁目(鴨池電停から徒歩1分)と、荒田2丁目(荒田八幡電停から徒歩5分)にあるビルの部屋(1K、1DK)をご提供頂き、平成19年7月からNPO法人子ども医療ネットワーク運営の鹿児島ファミリーハウスが誕生しました。

お問い合わせ / 子ども医療ネットワーク事務局 TEL 099-275-5354

### お問い合わせ先

#### 特定非営利活動法人子ども医療ネットワーク本部

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内

電話：099-275-5354

#### 特定非営利活動法人子ども医療ネットワーク事務局

電話：099-275-5354 / FAX:099-265-7196

### 活動について・お約束

**活動** 離島やへき地など、小児医療の専門医が少ない地域に住んでいる子どもさんが、長期間の入院が必要な病気にかかった時に、ご家族を含めて安心して闘病できるように支援する事を目的に設立されました。病気に対する不安や疑問を軽減し、外泊があるいは通院にかかる負担を軽減する為の事業を行います。すべてが皆様の共感とご協力のもとに運営されています。

**お約束** 皆様からお預かりした個人情報  
 ・会員のご案内の発送以外の目的で使用する事はありません。  
 ・ご本人の同意なく第三者に開示・提供する事はありません。

ホームページは随時更新中です

<http://www.kodomo-iryoo.org/>